

教員による取り組み

【出前講座】

大学の研究成果を社会に還元する取組みの一環として、平成13年度から実施しています。100を超える講座を設定し、教員が県内各地の公民館などに伺い、リクエストされた講座を出前開催します。

◆平成30年度 24講座 参加者約 1,600人

【公開講座】

地域のみなさんに生涯学習の機会を提供し、地域振興にも役立てていただくため、毎年度公開講座を開催しています。

◆令和元年度 15講座 参加者 943人

【公開授業】

親しみやすい科目を中心に、学生と一緒に受講できるようにした授業です。

◆令和元年度 12授業 参加者延べ 1,983人

【外国語教育研究所】

群馬県内における外国語教育の拠点として平成13年に設立。県内高校生を対象としたグローバル人材育成(明石塾)、英語コンテスト(明石杯)、高等学校連携英語授業などを実施しています。今年度の新規事業として、海外事業展開している県内企業に対しビジネス英語研修を始めました。また、県文化振興課の委託を受け英訳を担当した英語版上毛かるたは来年度発行予定です。開始から19年目になる県民英会話サロン「グローバルカフェ」では、身近なトピックについて英語で気軽に外国人と会話できる場を提供しています。

◆平成30年度グローバルカフェ 29回開催 参加者延べ 1,368人

【群馬学センター】

群馬に関する「知の拠点」を目指して平成21年に誕生しました。年に数回開催している群馬学連続シンポジウムは38回を数え、参加者は累計約15,700人となっています。郷土史家萩原進氏の蔵書を中心に約6,500冊の群馬関連の図書を公開しています。

◆令和元年度群馬学連続シンポジウム 2回実施 参加者 800人

【地域日本語教育センター】

外国人への日本語教育、日本語教育を担う人材の育成、生活日本語の研究や教授法・教材等の開発、関係機関の連携などの事業を行っています。

◆令和元年度地域日本語教育講演会 参加者 70人

(参考)公開講座等:<https://www.gpwu.ac.jp/ext/>
附属機関の活動:<https://www.gpwu.ac.jp/org/>

【審議会・委員等】

群馬県教員育成協議会委員/群馬県立高等学校学校評議員/群馬県高校教育改革検討委員会委員/群馬県景観審議会委員
群馬県世界遺産専門委員会委員/前橋市コンプライアンス(法令遵守等)推進委員会専門委員/富岡市立美術博物館協議員
伊勢崎市男女共同参画推進協議会副会長/みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会委員
玉村町公民館運営審議会副委員長/群馬弁護士会資格審査委員会委員/群馬テレビ番組審議委員
(株)エフエム群馬放送番組審議会委員/ぐんま赤尾奨学財団選考委員館林市史編さん専門委員
静岡県富士山世界遺産センター専門評価員/三陸国際芸術祭海外芸能プログラム・ディレクター など



公開講座



公開授業



外国語研究所



群馬学センター



地域日本語教育センター



群馬県立女子大学 2019 地域・社会貢献活動 報告書

国文学科

絹文化！お国ことば調査プロジェクト



世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を訪れる観光者に、生まれ育った地域のお国ことばを伺い、その場で方言地図を作成するプロジェクトです。2019年度は、富岡製糸場と高山社跡で活動しました。

美学美術史学科

学生有志

美学美術史学科

渋川市民ミュージカル



渋川子ども若者未来創造プロジェクトが主催する市民ミュージカルに学科として「協力」の形を取り、様々な側面支援を行いました。ボランティア参加した学生が舞台セットのデザインや色付けを行い、地域の方々と交流しながら完成に貢献しました。

美学美術史学科

国文学科 英米文化学科 美学美術史学科

近隣の中学校での放課後学習教室の支援



地域の中学校などで運営されている放課後学習教室に教職を目指す学生が出向き、中学生の自学自習の支援を行っています。学生たちは中学生の皆さんの学びを支えながら、教えることの体験を通じて、「先生への道」を歩んでいます。

国文学科

美学美術史学科

全学部

玉村町国際交流教室 日本語教育ボランティア



玉村町の日本語教室で外国人の技能実習生とお話をしながら楽しく日本語を教えています。違う国籍を持つ学習者同士が日本語で、会話をしているのを知っていると嬉しく感じます。彼らの国や文化について知ることができると同時に、改めて日本について考える良い機会であると思っています。

美学美術史学科

前橋七夕まつりに体験コーナーとして参加



毎年デザインゼミとアートマネジメントゼミの学生が前橋七夕祭りに参加しています。学生たちは七夕にちなんだ顔だしパネルを設置し、道行く人たちに短冊に願い事を書いて笹に飾ってもらいます。たくさんの方で賑わう大通りで楽しく夏のお祭りに参加し、地域の人とコミュニケーションを図っています。

国文学科 英米文化学科 美学美術史学科

群馬県公認Instagram、県女生による群馬の魅力を発信



群馬県の魅力を学生の視点で発信するInstagramアカウント「【群馬県公認】県女生の日常」が2019年11月に開設されました。山本一太群馬県知事による講義において、学生と知事が語り合う中で生まれた発想を実現したもので、本学学生の有志メンバーにより運営しています。県内の施設やイベント、食べ物など「県女生の日常」を通じて群馬の魅力を発信しています。

美学美術史学科

玉村町立第2保育所でワークショップ



授業名「絵画4(彩画)」の課題の1つとして約10年間、玉村町第2保育所の年長(5,6歳)を対象に、ワークショップを実施しました。履修生が企画立案、保育所にプレゼンし内容を決定。学外の違う世代との交流をとおして、多くのことを経験し学ぶことは、自己の創作活動や地域との連携にもつながっています。

国際コミュニケーション学部

さばたんさい 佐羽淡齋研究会による桐生文化調査



江戸中期、日本屈指の富豪であり、同時に日本有数の詩人とされながら久しく忘れられた漢詩人、佐羽淡齋(さばたんさい)の作品の全訳に挑んでいます。彼が生活した桐生の歴史を発掘するとともに、東京、横浜、箱根等に残された各地の足跡も辿っています。

サークル

スマーク伊勢崎「マルシェ」に参加



実技ゼミ(絵画、デザイン)がスマーク伊勢崎館内で開催された「クリスマスマルシェ」「学園マルシェ」に参加しました。缶バッジをつくるワークショップなどを行いました。子どもから大人まで多くの方に参加していただきました。

サークル

中之条ピエンナーレ会期中に学生が情報を発信



中之条で2年に一度開催される国際芸術祭において、学生が自身で会場を回り、作品や作家、地域で見つけたステキなものなどの記事を書き、特設ブログで情報発信をしています。2013年より継続して関わっています。

サークル

小学校でICT機器活用への協力



玉村町内の小学校で、先生方のICT機器を用いた授業や操作の補助、授業提案などを行っています。ICT機器による効率的で効果的な新しい授業を知ることができるのはもちろん、先生方の授業づくりや子ども達とのふれあいなど、学校現場だからこそ学べるものがあります。

デザインマッチング



美学美術史学科デザインゼミ生と県内企業とのマッチング事業を8年前から実施しています。2019年度は、県内唯一の注染手ぬぐい染工場と「手ぬぐいデザイン」を、そして樹脂切削加工会社と「スマホスピーカー」をデザインしました。女子大生らしい斬新で楽しいアイデアが生まれました。2020年度発売予定。

ラグビーワールドカップのボランティア



熊谷ラグビー場で行われたラグビーワールドカップの試合で学生がボランティアとして参加しました。英語の能力を活かし、会場に来ている海外記者達をお世話するメディアサポートとして活躍しました。

朗読研究会による読み聞かせボランティア



学内サークル「朗読研究会」は休日や長期休暇を利用して地元玉村町の町立図書館で子ども達に絵本や紙芝居の読み聞かせのボランティアもしています。子ども達には大好評です。

サークルによる学内献血の広報活動



献血推進サークル「ましろ」は赤十字血液センターと協力し、献血推進のための啓発活動を行っています。群馬県内のショッピングモールや県立公園「群馬の森」などで献血への協力呼びかけを行っています。

活動開始から10年 女子大パトロールの会



女子大パトロールの会は、2009年に発足したサークルです。玉村町の町民ボランティア「シニアパトロールの会」と一緒に町内の夜間パトロールを行い、自分たちの大学のある地域の安全安心を守るための活動を行っています。